

岡山市立学校園における働き方改革推進方針について【概要版】

ワークライフバランスを実現することにより、教育の質の向上を図ります

目的 教職員の働き方を見直し、ワークライフバランスを実現することにより、自分自身の時間や家族との時間の充実、日々の生活や教職員人生を豊かにすることを旨とするとともに、教育の質の向上を図ります。

そのためにも、教職員の長時間勤務の縮減と負担軽減の取組を推進し、心身ともに健康で生き生きと働くことのできる職場環境づくりを目指します。

期間 令和5年度から令和7年度の3年間

対象 岡山市立の幼稚園、小学校・中学校・義務教育学校・高等学校



推進方針の目標

推進方針に基づき、より働き方改革を推進することにより、最終年度（令和7年度）の学校園における目標値として、以下の数値目標を設定します。

目標① 時間外在校等時間が月45時間を超える教職員ゼロを目指します。

<当面の目標>

○令和5年度に時間外在校等時間が月80時間を超える教職員をゼロにします。

○令和6年度に時間外在校等時間が月60時間を超える教職員をゼロにします。

目標② 教職員の年次休暇取得率を70%とします。

目標③ ストレスチェックの総合健康リスクを学校園平均で85以下とします。

岡山市立学校園の現状	
目標①	80時間超・・・11.5%
	60時間超・・・31.1%
	45時間超・・・52.1%
(令和4年度)	
目標②	年次休暇取得率・・・60.9%
(令和3年度)	
目標③	総合健康リスク・・・89
(令和4年度)	

4本の柱とその取組

- ・保護者連絡ツールの導入
- ・学校業務アシスト職員の配置時間増
- ・学校給食費の公会計化（R6）
- ・ICTを活用した効率化
- ・ペーパーレス化
- ・GIGAスクール構想の支援体制強化 など

学校園における業務の効率化

部活動等と教育課程の抜本的な見直し

- ・部活動ガイドラインの徹底及び解釈の統一
- ・会議・連絡会の効率的な運用
- ・教育課程の抜本的な見直し
- ・学校園行事の見直し など

- ・好事例集の水平展開による標準化
- ・校務・園務分掌の平準化
- ・年間業務量の平準化
- ・学校園内の業務負担の差異の解消による平準化 など

学校園における業務の標準化、平準化

教職員の意識改革と健康保持

- ・学校園閉庁日(試行)の拡大(5日)
- ・産業医面談の拡充
- ・休暇取得の促進
- ・年次休暇取得環境の整備
- ・定時退校・退園日の拡大 など

※詳しくはホームページをご覧ください。